

WEB版 私と、定禅寺通

定禅寺通エリアで活動する方にお話を伺いました

第2回 定禅寺通ミュージックカルチャー発信事業プロジェクト

すが まさよし
菅 真良 さん



ARABAKI PROJECT代表として東北最大級の野外フェスARABAKI ROCK FEST.に尽力する等、音楽シーンで広く知られた存在。令和4年、定禅寺通エリアの音楽による活性化を目指す「定禅寺通ミュージックカルチャー発信事業」を立ち上げ、勾当台公園野外音楽堂(野音)が舞台の「勾当台野音ライブ」を開始した。

ARABAKI ROCK FEST.をはじめ、音楽業界でご活躍されながら、新たに定禅寺通エリアで音楽による活性化プロジェクトを立ち上げた経緯を伺います。

野音は、エフエム仙台さんとの共催の「夕涼みコンサート」や東日本放送さんと共催の「七夕野音ライブ」など、七夕時期のイベントで馴染みがありました。2011年、弊社代表が副理事長を務めていた仙台ビジターズ産業ネットワークのコアメンバー会議で、野音をプロ仕様の施設に再建する構想が出ましたが、直後の東日本大震災により立ち消えになったと聞いています。以降、自分なりに野音や定禅寺通のこれからのこと、仙台市でのエンタメの在り方等をいろいろ考えていました。公園の再建でもし野音が無くなるのであれば、街の中心でコンサートができる場所が減ってしまうと思いながら、定禅寺通街づくり協議会等に参加してメンバーのお話を聞くうちに、街の中心で開催する**コンサートやエンタメは街の中心に人が集まるきっかけ・「場所」になっていく**と改めて分かったんです。

「場所」があると、そこを目指して主催者やアーティストがやってきます。もし収容人数2千人、控室や音響等しっかりした施設を備えたプロ仕様の野音が出来たら、そこで何かをやろうという動きが出てきます。

野音という「場所」をきっかけに、人々が交流し素敵な時間を過ごすことで、新しい文化が生まれる。そう街の方々に実感していただけたら、野音自体も、そして定禅寺通も、もっと素晴らしい施設や街になると想像してみたんです。じゃあやってみよう！と、まずは知り合いのアーティストに声をかけ、野音を舞台にしたミュージックカルチャー発信事業第一弾・勾当台野音ライブ(仙台フィルとアーティストのコラボ企画)を始めることにしました。

定禅寺通エリアに野音があることで、どのような可能性があるのでしょうか。

アメリカのオースティン市の「サウス・バイ・サウスウエスト(SXSW)」には、新人ミュージシャンが街中のライブハウスや飲食店約200か所でライブを開催し、世界中からやってきた音楽関係者がいい

なと思うミュージシャンをスカウトしデビューさせる、見本市のようなフェスがあります。

とってもいい仕組みだなと思ったのは、フェスがきっかけでデビューしビッグネームとなったミュージシャンが、何年後かに街に戻ってきて、街の中心にある5千人規模の野外音楽堂で恩返しのライブをやる。彼目当てでやって来るお客さんたちは、野外音楽堂でのライブを楽しんだ後、街中で開催しているライブを楽しむ。そういう仕組みができています。

定禅寺通エリアは、そういう仕組みを実現できそうなロケーションだと思います。そんなことが出来たら、**仙台に住みながら世界で活躍するミュージシャンやエンターテイナーが生まれるかもしれない。世界に飛躍するきっかけの「場所」があれば、仙台に居ながら世界で活躍する可能性がある**のではないのでしょうか。

これからの野音に期待することを伺います。

昔、野音でエフエム仙台さんと「夕涼みコンサート」という無料の屋外音楽イベントをやっていました。開催の背景に、設備のしっかりした野音を作りたいという目標と、公共公園でプロによる有料のコンサートを開催するというコンセプトがあったんですが、その時は実現できませんでした。そして今、時間がかかりましたが、公園で有料のコンサートを開催することにご理解いただけていると感じます。

近頃は企業等から協賛をいただくことが難しく、チケットをしっかりと売ってイベントを成立させなければいけない事情もあります。そういう意味でも、**きちんとした有料のコンサートが出来る場所を整備していくことが大事**になってきます。次のステップとして、**ちゃんとしたプロ仕様の野音を根付かせて、そこから文化が生まれるような仕組みをしっかりと作っていかないといけない**と思っています。

また、仙台では「〇〇といえばここ！」という「コンテンツを連想させられる場所」をあまり作っていません。野音はコンテンツと結びつきやすい性質ですので、「**〇〇といえば野音!**」という場所にできればと思います。

WEB版 私と、定禅寺通

第2回 定禅寺通ミュージックカルチャー発信事業プロジェクト
菅 真良 さん

閑話休題…

ARABAKI ROCK FEST.のカラオケコーナー、「スナック定禅寺ブギー」の名前の由来を教えてください♪

あまり意味はなくて、単純に「定禅寺」の字面がかっこよかったのと、弊社が定禅寺通に近いのが由来です(笑)。ちなみにコーナーのきっかけになったスナックは、国分町の稲荷小路にあるお店なんです。

いつか野音の取り組みも、同じ東北でやっているARABAKI ROCK FEST.やオハラ☆ブレイクの兄弟分として楽しんでいただけるようなものに育ったらいいなと思っています。

8/6(土)に勾当台野音ライブ～仙フィル・カルテットフリーライブ～が開催されました。今の心境と今後の活動についてお聞かせください。

近所にお住まいの方が見に来てくださって、「ここでストリングスの音楽を聴けるのは贅沢ですね」と話しかけてくださった。やっぱりそういう風に感じてくださる方がいるんだと嬉しかったです。

あと、今回はステージと客席をロープで区切ったんですが、区切りがない方が良かったなと感じました。改めて、自然と場所のマッチングが野外コンサートの醍醐味であると実感したので、次回は自然の中でのライブを行うというコンセプトを大切にやっていきたいです。

野音が心地よい音楽に包まれました



「勾当台野音ライブ サニーディ・サービスwith仙フィル・カルテット」は出演者変更により開催延期。11/20振替公演予定。

今後も季節ごとの仙台フィルとのライブを続けていきます。最初はクラシック中心に始めて、活動にご理解いただけるようになったら、**ロックバンドやアイドル等全方位でエンタメをやって、若い方をはじめ多くの方に楽しんでいただきたい**です。それこそ音楽に限らず、お笑いや映画上映をやってもいいかもしれませんね。

市民の皆さんに広く参加いただけるようなオーディションも開催してみたいです。昔、市内のライブハウスでオーディションイベントをやっていました。それをもとに、全国で一世を風靡したとあるオーディション番組が作られたという話があって、**仙台のカルチャーシーンが先駆けになったんですね**。

あとは、**四季のお祭りに音楽がリンクできるような企画**もしたいですし・・・**ライブを見に来てくれたお客さんが、街でもう一回余韻を楽しむことができるような企画**をたくさん作っていきたいです。

未来の、例えば2030年の定禅寺通は、どのようになっていたらいいと思いますか。

「**生まれる場所**」にしたいですね。音楽に限らず、スタートアップの企業が、例えば県民会館跡地に集まったりすると、「**定禅寺エリア=新しいことが生まれる場所**」というイメージが付くのではないかと思います。イメージ付けてとても大事なので。

あとは、**ライブやイベントの前後に、お客さんが国分町でしっかり楽しめるような取り組みがお店の方と一緒にできたらいい**ですね。武道館でライブがあると、近くのいろんなお店がチケット持参で優待されるサービスをやっている。仙台でも遠慮せずどんどんやっていったら、一日だけじゃなく何日も滞在してくれる旅行者が増えるんじゃないかと思います。定禅寺通沿道のお店から始めるのがいいのかもしれないですね。

定禅寺通エリアのオススメスポットや魅力を教えてください。

会社が定禅寺通のすぐ近くにあるので、日頃から定禅寺通を通っています。**街の真ん中でケヤキ並木がずっと続くロケーションって、誇るべき・自慢すべきもの**だと思いますし、地域の皆さんも愛着をお持ちであると思います。**定禅寺通でがんばっていらっしゃる方は、定禅寺通をどうにかしてもっと面白くしたいという気持ち**がとても強いんだと思います。

自分もそのひとりとして、世界中から人々が集まるような取り組みを立ち上げられるよう頑張っています。

貴重なお話
ありがとうございました！

